

報告書の作成に寄せて

冒頭に、平成29年3月27日に発生した那須雪崩事故で亡くなられた7名の生徒と1名の教員の皆様に心から哀悼の意を表するとともに御遺族の皆様に心からお悔やみ申し上げます。また、けがをされた方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会（以下「当委員会」という。）は、本件事故の発生状況、課題等について検証を行い、事故の再発防止を図るため、平成29年4月11日に設置され、栃木県教育委員会や関係学校等における基本調査結果及び御遺族等の要望の内容等も踏まえ、栃木県高等学校体育連盟主催（登山専門部主管）の春山安全登山講習会の計画や内容、引率教員の雪山経験や指導歴、事故発生当日の行動や判断の状況、雪崩事故発生時及びそれ以後の救助活動や保護者等への連絡などの緊急対応、栃木県高等学校体育連盟及び各学校の対応などについて、追加の資料収集や現地調査、関係者の聞き取りを行った。

本報告書は、第一次報告後に、事故に遭遇した生徒やその保護者、関係教員、栃木県高校体育連盟関係者などを対象に、追加の聞き取り、資料収集などの調査を継続して更なる検証を進めるとともに、当委員会での約6か月にわたる検証結果を整理し、論点に基づいて分析・検討し、類似の事故を繰り返さないための提言を付して取りまとめた最終報告書である。

栃木県高等学校体育連盟は、昭和34年に高等学校の体育・スポーツの健全な発達を目的として結成され、三つの地域支部、35の競技別専門部、定通部及び三つの委員会で構成されており、全国的に活躍する種目も多く、長年にわたり体育・スポーツを通して有為な人材を育成し、県内外に輩出していると聞いている。競技別専門部である登山専門部は、昭和31年に当時の栃木県学校体育連盟（高校部）の専門部として発足し、その後、現在の位置付けとなった。昭和49年に今市工業高校男子、昭和60年に真岡高校男子、平成5年に鹿沼東高校女子が全国高等学校総合体育大会で優勝するなど、栃木県内の高校登山部は活躍を続けてきており、各校において活発な活動が展開されてきた。事故が発生した春山安全登山講習会は、昭和33年より実施しており、安全登山に必要な知識や技術を習得させることを目的としている。残念ながら、その講習会の中で、本件事故が発生してしまった。

近年は、2022年国民体育大会の栃木県開催内定や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機として、県民のスポーツに対する関心が高まり、高校スポーツの持つ多彩な魅力と意義が一層認識されつつある重要な時期でもある。今回の検証と提言に基づく安全対策を講ずることは、将来及び現在の体育・スポーツに取り組む全ての生徒にとっての安全確保と充実した活動につながることから、栃木県のみならず我が国の体育・スポーツ活動充実のためにも喫緊の課題であるといえる。

栃木県教育委員会、栃木県高等学校体育連盟・登山専門部、関係高等学校はもちろん、全国の高等学校及び教育団体、登山専門機関などの関係者は、このような事故の再発防止を重い課題と受けとめ、本報告書の内容と提言を参考として、学校の安全確保のための諸活動に取り組まれることを期待する。本検証の結果が、現在及び将来の学校や地域の安全確保につながり、栃木県のみならず我が国の高等学校等において、二度とこのような事故を起こさないという決意を胸に、報告書に盛り込んだ必要な対策等を着実に実践することを願い、亡くなられた7名の生徒と1名の教員への供養としたい。

なお、今回の事故の深刻さに加え、栃木県教育委員会及び関係者のみでは改善策の実現が困難であることも予想されるため、国（スポーツ庁）及び日本スポーツ振興センター（国立登山研修所）、気象庁等の行政機関や防災科学技術研究所など研究機関などに対する各方面からの支援の必要性についての提言も行っている。関係者においては、我が国の高校生等の登山部活動の安全と充実のため、御尽力いただきたい。

最後に、本委員会の検証に御協力いただいた多くの機関・団体並びに関係の方々から心からの謝意を表する。

平成29年3月27日 那須雪崩事故検証委員会 委員長 戸田芳雄
委 員 一 同